

M80

INSTALLATION MANUAL & USER'S GUIDE

L.R. Baggs

エルアールバッグス製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。M80 は M1/M1Active に続くマグネティックタイプピックアップです。3D で動くマグネットを内蔵し、弦振動だけでなく、ボディ振動もこれまでにない的確に捉えます。専用のプリアンプを内蔵し、そのままアンプや P.A. などに出力可能です。また Para Acoustic D.I. など別の外部プリアンプで音質をコントロールしたい方の為に、プリアンプをキャンセルするアクティブ/パッシブスイッチも備えています。

セット内容

ピックアップ本体、エンドピンジャック・アセンブリ、ワイヤークリップ (2 個)、ポールピース高さ調整用レンチ、予備ポールピース (2 種 3 個)、予備バッテリー

取付前に

M80は直径 3.55 インチ (約 89mm) 以上のサウンドホールを持つギターに取り付ける事が出来ます。ギターに加工をする前に、M80 が取り付け可能か確認して下さい。取付は非常にシンプルですが、木部加工 (ストラップジャック用の穴あけなど) はプロのリペアマン、または専門店などに任せることを強くお勧めします。

取り付け

取り付け概要

取り付け方は、付属のストラップジャック・アセンブリ (エンドピン) を使用する半永久的な取付 (図-1) と、別売のギター・ケーブル (以下“ギターケーブル”と表示) を使用する簡易取り付けが出来ます。ストラップジャック・アセンブリを使用する場合、エンドピン (またはその周辺) に穴あけ加工が必要になります。(下記セクション 2.2 をお読み下さい)。ギター・ケーブルを使用する場合にはサウンドホールからケーブルを出し外部機器に直接接続する事が出来ます。この場合、ギターへの加工が一切不要になります。(裏面のセクション 2.3 をお読み下さい)。

ストラップジャック・アセンブリの取り付け

半永久的な取り付けをする場合、ストラップジャック用の穴あけを行う前に、サウンドホールにピックアップ本体が取り付けられるかどうか確認して下さい。M80 は 3.55 インチ (約 89mm) 以下のサウンドホールには取り付けられません。また、ギターによってはサウンドホールの位置がずれていて、取り付けの際に各弦が M80 のポールピースの真上に来ない事があります。このようなギターの場合、まずは簡易取付で音量バランスなどを確認して下さい。

Step-1

ストラップジャックの取り付けには、ギターの底部に 1/2 インチ (約 12.5mm±0/2mm) の穴を開ける必要があります。エンドピンのないギターまたはあっても小さい場合には、塗装欠けを防ぐため、まず穴を開ける箇所の周りにマスキングテープを張り、小さなガイド穴を開け、ステップドリル等でその穴を拡げていきます。

Step-2

ストラップジャックから、ストラップボタン、ナット (小)、ワッシャー (小) を外します。この時点では、スターワッシャー、フラットワッシャー、ナット (大) がストラップジャック本体に付いています。そのままサウンドホールからストラップジャックを入れ、ボディ下部にあげた穴に通します。

Step-3

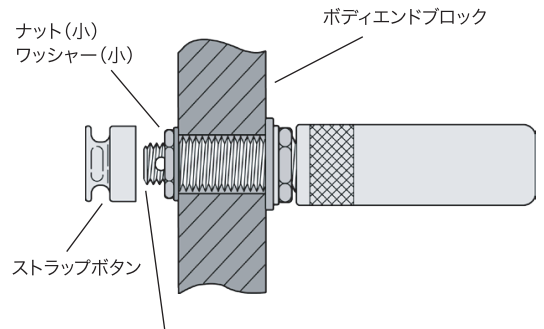
ボディの外に出たネジ部分に、最初に外したワッシャー (小) を入れ、ナット (小) を締め込み、さらにストラップボタンを取り付けます。ストラップボタンの先から内部のネジ部分が出過ぎる場合は、もう一度外し、ボディ内部側のナットを緩めて、長さを調節して下さい。逆に、引っ込み過ぎていると、ギターケーブルを接続した際に接触不良等を起こしますので注意して下さい。また、ナット (小) を締込む際は、力を入れ過ぎると塗装にヒビが入る恐れがありますのでご注意ください。

ピックアップの取り付け

ストラップジャック、またはギターケーブルをピックアップ側のジャックに差し込みます。ピックアップの上部両側にあるネジを緩めてサウンドホールにはめ込みネジを締めます (入れこむポイントとして、少し広めにネジを緩め、斜めから挟み込むようにすると容易に取付が出来ます)。小さなサウンドホールの場合はクランプを完全に外してから取り付けます。その際にクランプを本体サイドのスロットにきちんとはまる様にして下さい。

ピックアップを固定した後、ギター内のワイヤー類を付属のワイヤークリップで表甲に触れない様、ボディサイドに固定して下さい。

ストラップジャック・アセンブリ取付の注意



ストラップボタンを付けた時に、ネジが切っている部分先端がストラップボタンから、ほんの少し出る程度で固定する。

図 1

ギター本体へのダメージを避けたい方は、M80 のクランプ部に薄いコルクなどのパッドをギターとの間に挟むなどの対策をおすすめします。M80 はボディの鳴りを十分に拾うため、意図的にパッド等は付けていません。パッドを挟む事によりM80 に伝わるギターの振動が変わるため、音色やレスポンスに変化が出る可能性があります。

注1) ギターケーブルを使用し、サウンドホールからケーブルを出す場合、ボディ表面にケーブルを固定して下さい。固定しない場合、ケーブルがボディに当たる音も拾ってしまいます。

注2) ギターケーブルを使用する場合、ピックアップにケーブルを挿した時点でピックアップの電源が入ります。使用しない場合は必ずピックアップからケーブルを外して下さい。ストラップジャック・アセンブリを使用した場合はジャックにケーブルを挿した時にピックアップに電源が入ります。

2. セッティング

アクティブ/パッシブセッティング

M80 は“アクティブ”と“パッシブ”どちらかのセッティングで使用できます。セッティングの切替はピックアップ本体底にあるスイッチで行います。(図2)

アクティブセッティング

M80 のパフォーマンスを最大限に引き出す専用ディスクリート・プリアンプが働き、オプティカル・ノイズキャンセラーが効いた高出力のアウトプットシグナルが出力されます。外部プリアンプを使わないで直接アンプや P.A. に送り込むことができます。急な電池切れの場合でも、パッシブセッティングに切り替えれば、そのまま使用する事ができます。その場合は、外部プリアンプ等で出力を上げて下さい。本体のボリュームコントロールで音量を調整できます。

パッシブセッティング

内部プリアンプをバイパスするセッティングです。アクティブ時にバッテリーが切れた時の緊急モードとしての利用以外に、外部プリアンプの音を重視したい場合や、バッテリーを気にせず M80 を使いたい場合は、こちらのセッティングを選択して下さい。特に、ストラップジャックではなくギターケーブルを利用する場合、バッテリーを気にせずケーブルを挿したままにしておけます。**パッシブセッティングでは本体のボリュームコントロールは効きません。**

*パッシブセッティングではバッテリーは使用しませんが、バッテリーチェックボタンは動作します。

バッテリーチェック及び交換

M80 は3V リチウムバッテリー (CR2032) を使用しています。本体向かって左側のボタンを押すことで、バッテリー寿命をチェックできます。(図3) バッテリーがフルの場合、4つのライトが点灯します。フルの状態では約 300 時間の連続使用が可能です。ライトが2つ点灯した場合は、残り約50時間利用できます。ライト点灯が1つだけになったら、電池の交換時期です。市販の CR2032 タイプバッテリーをお使い下さい。

電池を交換する場合は、本体裏側の「push tab」と書かれている部分を押すと、電池が斜めに傾き外れます。電池はプラス側が見えるようにセットします。(図4)

ポールピースの高さ調整

ポールピースの高さはあらかじめ一般的なブロンズ弦用に合わせてあります。出荷時では、2弦 (B) の位置には、ポールピースがありません。大抵の場合はそのままお使い頂けますが、お好みにより付属のポールピースを使って調整して下さい。

各ポールピースは付属の六角レンチで高さ調整することが出来ます。ポールピースを弦に近づければ出力が上がり、遠ざければ出力は下がります。パワフルでハッキリとしたトーンを得るには出来る限り近づけた方が良いでしょう。逆にポールピースを下げることによってエア感強調することができます。調整レンジを超えてポールピースを下げていくと一定の場所で抵抗が掛かります。それ以上はポールピースを下げないで下さい。ピックアップを破損する恐れがあります。

予備ポールピースは以下の弦用です。お好みでお使い下さい。

*3/4 インチポールピース：ニッケル弦/エレキ弦 2弦 (B) および 1弦 (E) 用

*3/8 インチポールピース：ワウンドタイプ3弦 (G) 用

3. さらに有効的に使うために

M80 はどのような機器に接続しても最適な結果が得られますが、ライブやレコーディングなどのシビアな環境では、外部への出力を細かくコントロールでき、優れた D.I. でもある同 L.R.Baggs 社の Para Acoustic D.I. や Venue D.I. の併用をお勧めします。より安定したサウンドと外部環境への柔軟な対応が可能になります。

L. R. BAGGS製品に関しては最寄りのお店にお問合せになるか、ホームページ www.jes1988.com をご参考にして下さい。

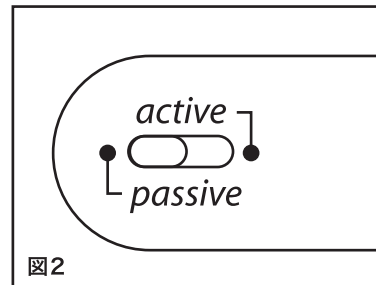


図2

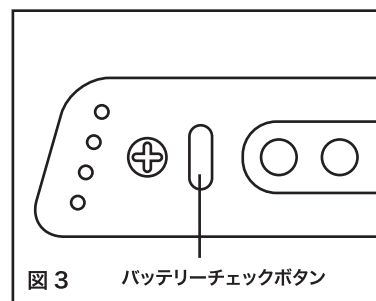


図3

バッテリーチェックボタン

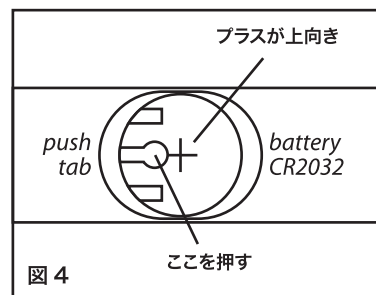


図4

ここを押す